205000091-0

地上デジタルチューナー

PRODIA

取扱説明書

PRD-BT100-P00

目次

この度は、地上デジタルチューナー「PRD-BT100-P00」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書(以下、本書)を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本書の裏表紙は製品保証書となっておりますので、読み終わった後も大切に保管してください。

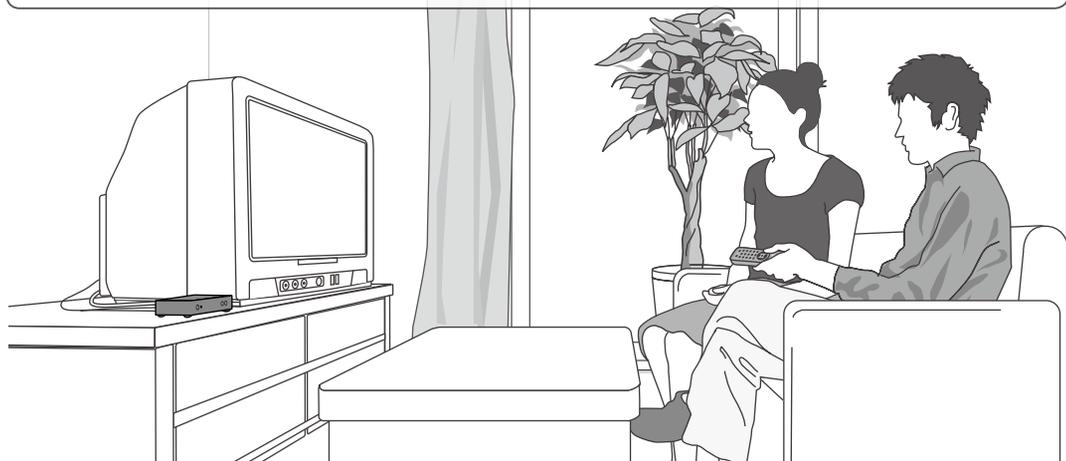
型番	PRD-BT100-P00	
外形寸法	W127×D105.5×H35.8(mm)　※突起部含まず	
質量	約180g　※本体のみ	
許容動作環境	温度0～40℃／湿度20～80%RH(結露なきこと)	
電源	電圧	本体：DC 5V
		ACアダプタ：AC100V　50/60Hz
	消費電力	5W
	待機電力	0.5W以下
放送方式	地上デジタル放送方式(日本)	
チューナー	地上デジタルチューナー×1	
受信チャンネル	地上波(UHF):13ch～62ch	
	CATV:13ch～63ch	
入力	アンテナ端子	F型コネクタ　入力インピーダンス　75Ω
	IR端子	φ2.5ピンジャック
出力	RCA端子(コンポジット映像・アナログ音声L/R)	

本機でできること

本機は、お使いのアナログテレビでデジタル放送を見ることができる、地上デジタルチューナーです。本機をテレビとアンテナの間に接続することで、手軽にデジタル放送をお楽しみいただけます。
本機を使って、右のようなサービスや機能を利用することができます。

デジタル放送とは

これまでのアナログ放送に比べて、より高画質、高音質な番組を見ることができる新しい放送です。放送に含まれる情報も、映像と音声に加えて、データ放送や番組表情報、字幕サービスが提供されます。
デジタル放送は、すでに全国すべての県庁所在地で放送が開始されており、現在も放送エリアが拡大されています。また、現在のアナログ放送は、2011 年 7 月までにデジタル放送に移行することが決定しています。
本機で利用できるデジタル放送のサービスは以下の通りです。

デジタル品質の画質・音質	×	字幕放送	○
番組表	○	マルチ映像・音声	○
データ放送 (双方向サービス)	×	緊急警報放送	○

番組表・裏番組表

放送波に番組表情報が含まれており、画面上に番組表を表示することができます。
通常の番組表に加え、同時刻に放送中の裏番組表を表示することもできます。

マルチ映像・音声

番組に複数の映像や音声が用意されている場合、切り換えることができます。
たとえば、音声を日本語と英語で切り換えたりすることができます。

字幕放送

字幕表示に対応した番組の場合、字幕を表示することができます。
また、複数の言語に対応している番組では、表示する言語も選べます。

視聴予約

予約を登録することで、指定した番組の開始時刻に合わせてチャンネルを切り換えます。(本機が待機中の場合でも自動的に起動します)
本機の視聴予約とお持ちのビデオデッキなどのタイマー予約を同時に設定することで、予約録画も可能になります。
※録画するには、本機とお持ちの録画機器を接続する必要があります。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

表示			図記号		
表示	⚠警告	この表示の注意事項は、火災・感電・破裂などにより、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	図記号		行為を禁止する図記号
	⚠注意	この表示の注意事項は、感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性があることを示します。			行為を指示する図記号

異常や故障のとき

⚠警告

以下の場合、すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜く
- ・煙が出たり、変な匂い、異音がするとき
- ・内部に水や異物が入ったとき
- ・製品が破損、故障したとき

火災・感電の原因となります。修理・点検は、本機のお買い上げ店または、にご連絡ください。

ＡＣアダプタが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ＡＣアダプタが冷えたのを確認してからコンセントを抜く

火災·感電の原因となります。本機のお買い上げ店または、ユーザーサポートセンターに点検をご依頼ください。

設置するとき

⚠警告

本機の上にものを置かない

内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災·感電·故障の原因になります。

振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない

倒れたり、落ちて故障やけがの原因となります。

屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する

感電やけがのおそれがあります。設置·工事は本機のお買い上げ店または、電器店に相談してください。

⚠注意

直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない

火災や故障の原因となります。

湿気・油気・埃の多い場所に置かない

火災・感電の原因となります。

風通しが悪い場所や引火の恐れがある場所に置かない

内部温度が上昇し、火災・故障の原因となります。

本機を移動するときは、接続しているケーブル類をすべてはずす

ケーブル類が傷ついたり、火災・感電・故障の原因となります。

小さなお子様の手が届く場所に設置しない

けがの原因になります。

使用するとき

警告

修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。点検・修理は本機のお買い上げ店または、ユーザーサポートセンターにご依頼ください。

内部に異物を入れない

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因になります。

水にぬらさない

火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機やＡＣアダプタに触れない

感電の原因となります。

注意

本機の電源を入れる前はテレビの音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因になることがあります。

長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く

ＡＣアダプタに埃がたまり、火災や感電の原因になります。

電池の取り扱いは以下のことを守る

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 正しい極性（＋／−）でセットする
- 使用推奨期限が過ぎた乾電池や、使い切った乾電池は使用しない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を併用しない

液もれや破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。液には直接触れず、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

ＡＣアダプタについて

警告

使用する時、以下のことを守る

- 付属のＡＣアダプタを使用する
- 100V のコンセントに、確実に差し込む

火災・感電・故障の原因となります。

付着した埃は定期的に掃除する

火災の原因となります。ＡＣアダプタを抜いてから掃除してください。

通電中にふとんをかけたり、暖房器具の近くに置かない

火災・故障の原因となります。

日本国内でご使用ください

故障の原因となります。

注意

ぬれた手で抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

本機について

- 本機のご使用には、付属のＡＣアダプタを必ず使用してください。
- 長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機の電源はテレビと連動していません。テレビを視聴しないときは、本機の電源を待機状態 (電源ランプが赤色) にしてください。
- 電源ランプは正面以外の角度から見ると、点滅状態や色を確認しにくい場合があります。
- 電源ランプが赤色に点滅している間は、本機の電源を入れたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。
- 本製品は、社団法人電波産業会 (ARIB) が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- 本機の不具合により視聴できなかった場合や、ソフトウェアの更新により、情報が消失した場合などの保証はいたしかねます。
- 電源が入っている状態で、本機がまったく動作しなくなった場合は、本機の電源を切ってから、再度電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、AC アダプタを本体から外して、電源を入れてみてください。
- 本機は一般家庭用に設計・製造されています。一般家庭用以外 (長時間の使用、車両、船舶などへの搭載) で使用すると、故障の原因となります。
- 本機は日本国内での使用を前提に設計、開発されています。海外での使用は保証いたしかねます。
- 本機とお持ちの機器を接続して録画する場合、本機の不具合等により、録画できなかったときなどの補償はいたしかねます。
- 本機とお持ちの機器を接続して録画や音声する場合、個人で鑑賞する場合のみお楽しみいただけます。著作権法上、権利者に無断で使用することは禁止されています。
- UHF とその他の放送 (BS 放送など) が混合された放送波を受信している場合、特定のチャンネルを受信できないことがあります。この場合は分波器を使用して接続してください。

B-CAS カードについて

- デジタル放送の受信には B-CAS カードが必要です。視聴するときは、付属の B-CAS カードが挿入されていることを確認してください。
- B-CAS カードは対応するデジタル放送受信機によって種類が異なります。必ず付属の青いB-CAS カード(地上デジタル専用受信機用)を使用してください。
- B-CAS カードを抜き差しするときは、A C アダプタをコンセントからはずしてから行ってください。
- 通電状態での B-CAS カードの抜き挿しにより、映像、音声、その他の情報が受信できなかった場合の保証はいたしかねます。
- B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カードのカスタマーセンターにお問い合わせください。

B-CAS カードのユーザー登録

ユーザー登録をすると、バージョンアップの連絡が来たり、紛失時の再発行手続きがスムーズに行われるなどのメリットがあります。
ユーザー登録はがきまたは、B-CAS カードのホームページからユーザー登録ができます。

ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
http://www.b-cas.co.jp/

本書について

- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使用している画像の一部は、はめ込み合成です。
- 本書で使用している画像は実際とは異なる場合があります。
- 本書で使用しているマークは以下の通りです。

	このマークは、参考にしていただきたい内容について記述しています。
	このマークは、特に気を付けていただきたい内容について記述しています。

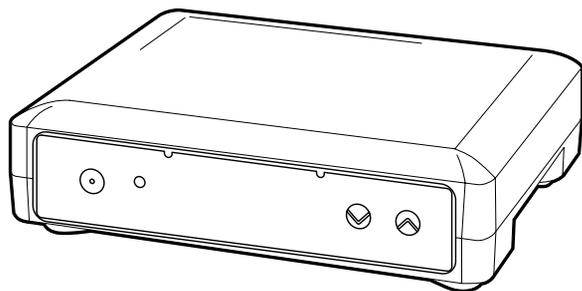
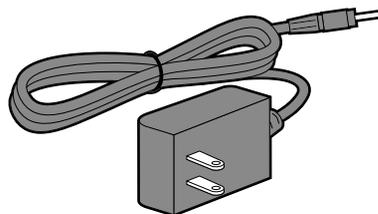
ご使用の前に

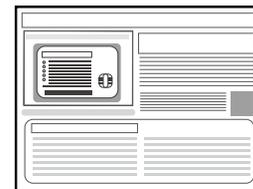
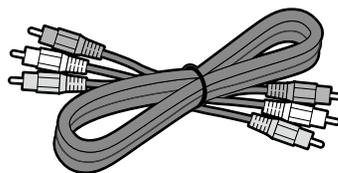
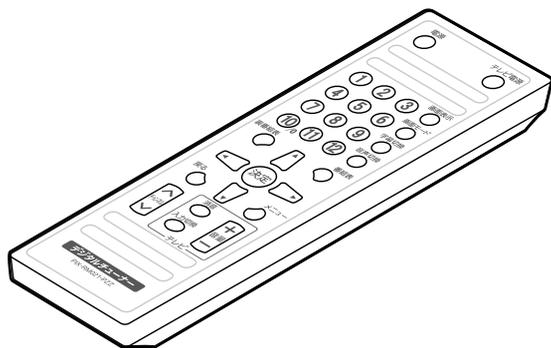
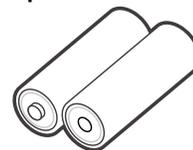
内容品を確認する

本製品に付属する内容品を確かめてください。
そろっていないときは、ユーザーサポートセンター (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

□本体

□リモコン

□ACアダプタ

□AVケーブル

□単４乾電池２本
（動作確認用）

□B-CASカード
（使用許諾契約書 添付）

□取扱説明書 (本書)

デジタル放送の受信について

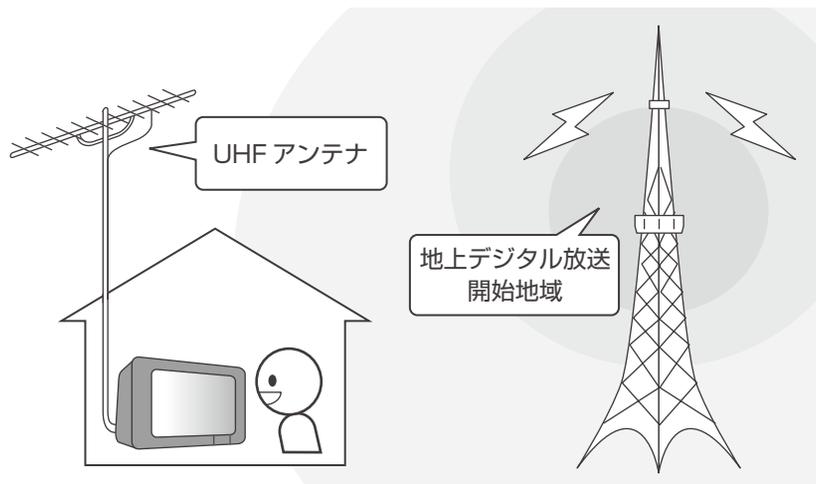
デジタル放送を見るためには、次の2つの条件が必要です。

●お住まいの地域でデジタル放送が開始されていること

受信できる地域は社団法人デジタル放送推進協会のホームページで確認できます。

社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

●UHF 対応のアンテナを使用していること

目安として、お使いのテレビで 13ch ～ 62ch までのチャンネルが受信できていれば UHF 放送に対応しています。
UHF 対応しているか不明な場合、詳しくは本機のお買い上げ店または、電器店などにご相談ください。

デジタル放送用のアンテナは必要？

デジタル放送は、これまで使用していた UHF アンテナで受信できます。ただし、デジタル放送とアナログ放送とでアンテナの受信方向が異なる場合、アンテナの角度調節が必要になったり、増幅器または、デジタル放送用に別のアンテナが必要になることがあります。

集合住宅（共同アンテナ）の場合

マンション、アパートなどの集合住宅の場合、1つのアンテナで受信した電波を各戸に分配する共同受信が行われています。お住まいの建物に UHF アンテナが設置されていれば、デジタル放送を受信することができます。

※ UHF アンテナが設置されていても、アンテナの設置方向によっては受信できない場合があります。設置方向の変更や改修工事については、お住まいの建物の管理会社または、管理組合にご相談ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

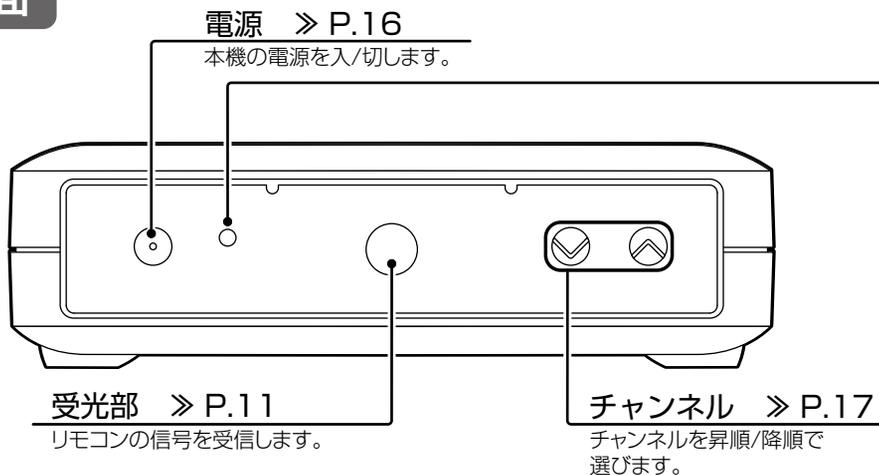
ケーブルテレビをご利用の場合は、ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本機を使用できます。配信方式および本機の接続方法については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

本機のなまえとはたらき

正面

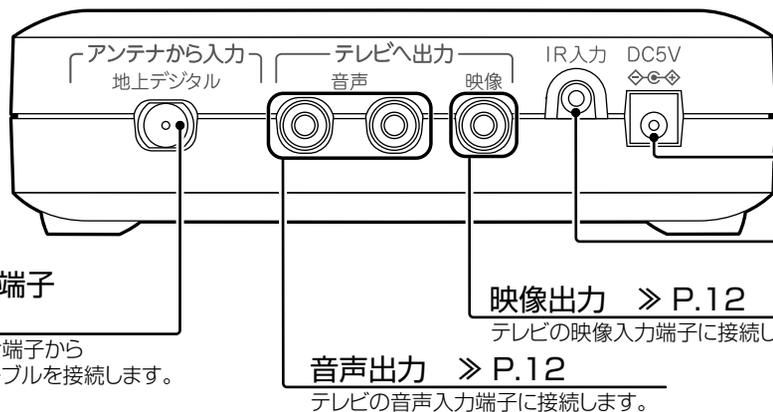
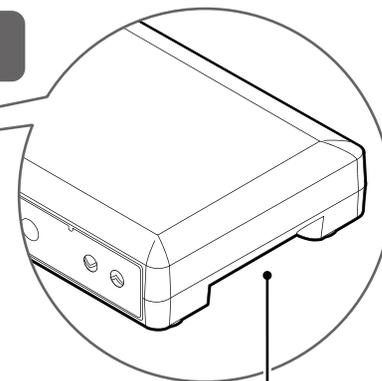
電源　≫ P.16
本機の電源を入/切します。

受光部　≫ P.11
リモコンの信号を受信します。

チャンネル　≫ P.17
チャンネルを昇順/降順で選びます。

電源 / 視聴ランプ
本機の状態を示します。

ランプの光り方	本機の状態
消灯	電源オフ
赤	待機中
赤 (点滅)	内部処理中
緑	受信中 / 視聴予約実行中
オレンジ	待機中（視聴予約あり）

※電源ランプは正面から見てください。

背面

側面

リモコンのなまえとはたらき

電源 ≫ P.16
本機の電源を入/切します。

裏番組表≫ P.19
裏番組表を表示します。

メニュー操作
メニュー内で選択や決定をします。

戻る
メニュー内で1つ前の画面に戻ります。

チャンネル ≫ P.17
チャンネルを昇順/降順で選びます。

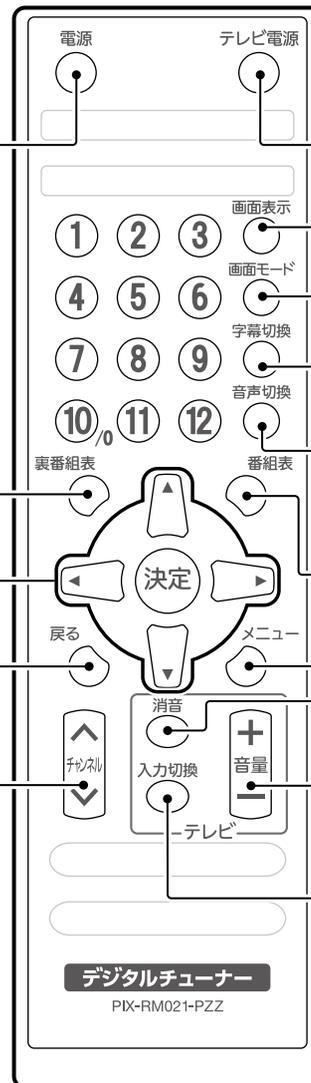
画面表示 ≫ P.17
番組情報を表示します。

画面モード ≫ P.24
画面モードを切り換えます。

字幕切換 ≫ P.24
字幕を切り換えます。

音声切換 ≫ P.24
音声を切り換えます。

番組表 ≫ P.18
番組表を表示します。

メニュー ≫ P.22
メニューを表示します。

テレビを操作するボタン

テレビ電源 ≫ P.16
テレビの電源を入/切します。

消音 ≫ P.17
音声を消します。

音量 ≫ P.17
音量を調節します。

入力切換 ≫ P.14
テレビに接続している機器からの映像に切り換えます。

電源 テレビ電源 画面表示 画面モード 字幕切換 音声切換 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12 裏番組表 番組表 決定 戻る メニュー 消音 チャンネル 入力切換 音量 テレビ デジタルチューナー PIX-RM021-PZZ

※ テレビを操作するには、リモコンの設定 (P.10) が必要です。

本機を設置する

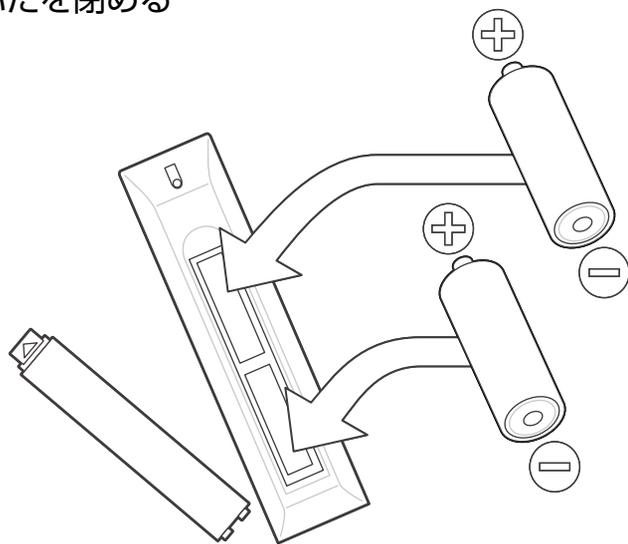
リモコンの準備をする

準備

本機の接続をする前に、リモコンを使えるようにします。

1. ふたをはずす

2. 付属の単４乾電池２個を入れる
※電池の向きに注意してください。

3. ふたを閉める

※付属の電池は動作確認用のため、通常より早く消耗する場合があります。

設定

付属のリモコンで、お使いのテレビを操作できるように、テレビメーカーごとのリモコン信号を設定します。

1. 右表からお使いのテレビメーカーの番号を確認する
※お使いのメーカーがない場合は設定できません。テレビの電源の入／切、音量調節、入力切換の操作はテレビのリモコンで行ってください。

2. リモコンの [テレビ電源] を押しながら番号を押す
例：「パナソニックＡ」の場合
[テレビ電源] を押しながら
[⑩] を押して、[①] を押す。

3. [テレビ電源] を押す
▶ テレビの電源を入／切できたら設定は完了です。

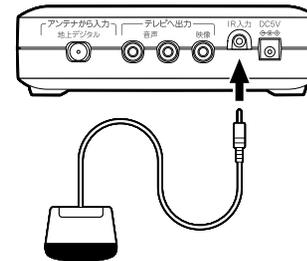
テレビを操作できないとき

メーカーによっては複数のリモコン信号があります。リモコンが動かない場合や同じメーカーの他の機器が誤作動する場合は、別のリモコン信号でお試しください。

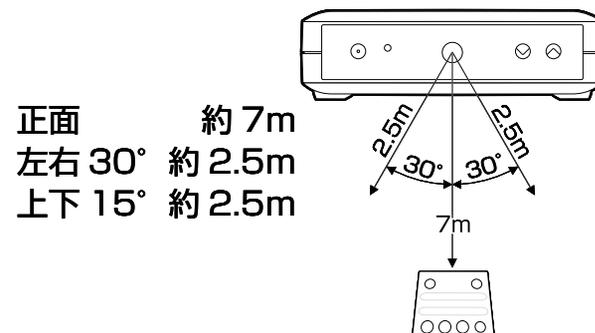
メーカー	番号	メーカー	番号
パナソニック　A	⑩ ①	AIWA　1	② ⑥
パナソニック　B	⑩ ②	AIWA　2	② ⑦
シャープ　A	⑩ ③	AIWA　3	② ⑧
シャープ　B	⑩ ④	SAMSUNG　1	② ⑨
シャープ　C	⑩ ⑤	SAMSUNG　2	③ ⑩
三菱電機　A	⑩ ⑥	SAMSUNG　3	③ ①
三菱電機　B	⑩ ⑦	SAMSUNG　4	③ ②
東芝　1	⑩ ⑧	SAMSUNG　5	③ ③
東芝　2	⑩ ⑨	FUNAI　1	③ ④
東芝　3	① ⑩	FUNAI　2	③ ⑤
日本ビクター　1	① ①	FUNAI　3	③ ⑥
日本ビクター　2	① ②	FUNAI　4	③ ⑦
日本ビクター　3	① ③	FUNAI　5	③ ⑧
日立製作所	① ④	FUNAI　6	③ ⑨
三洋　A	① ⑤	ORION　1	④ ⑩
三洋　B	① ⑥	ORION　2	④ ①
三洋　C	① ⑦	LG　1	④ ②
ソニー　1	① ⑧	LG　2	④ ③
ソニー　2	① ⑨	LG　3	④ ④
NEC　1	② ⑩	LG　4	④ ⑤
NEC　2	② ①	LG　5	④ ⑥
富士通　1	② ②	LG　6	④ ⑦
富士通　2	② ③	LG　7	④ ⑧
富士通　3	② ④	PHILIPS　1	④ ⑨
パイオニア	② ⑤	PHILIPS　2	⑤ ⑩
		PHILIPS　3	⑤ ①

リモコン受光ユニット（別売）の取り付け

本体が隠れてしまい、リモコン操作がしにくい場合などは、別売のリモコン受光ユニットを取り付けることをおすすめします。
本体の IR 入力端子に接続してください。

※ IR 入力端子にリモコン受光ユニットを接続しているときは、本体側の受光部は反応しません。

リモコンの使い方

リモコンの先端を受光部に向けて操作してください。

※ 下図の範囲内で使用できます。

本機の接続

アンテナを接続する

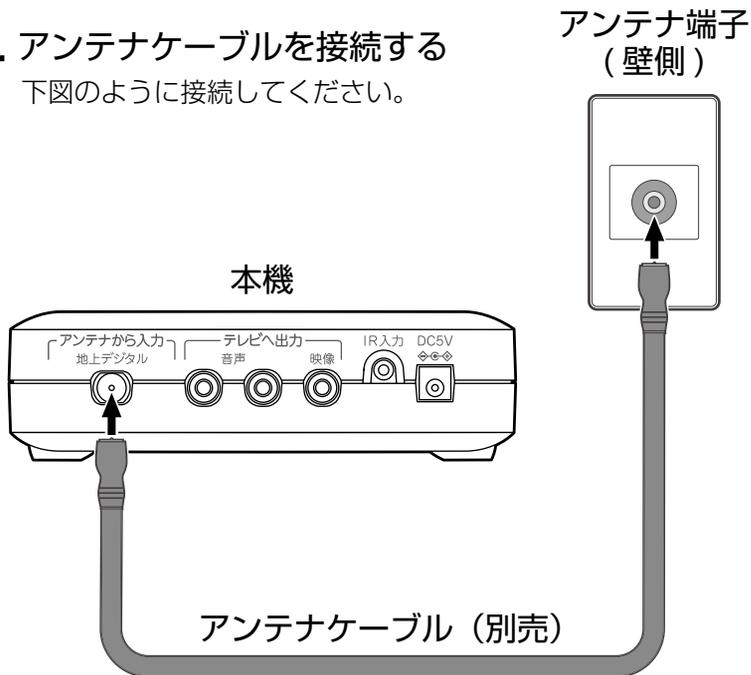
1. アンテナケーブル (別売) を準備する

必要になるアンテナケーブルは、壁側のアンテナ端子によって異なります。本機側と壁側のアンテナ端子に合致するアンテナケーブルを用意してください。
詳しくは本機のお買い上げ店または、電器店などにご相談ください。

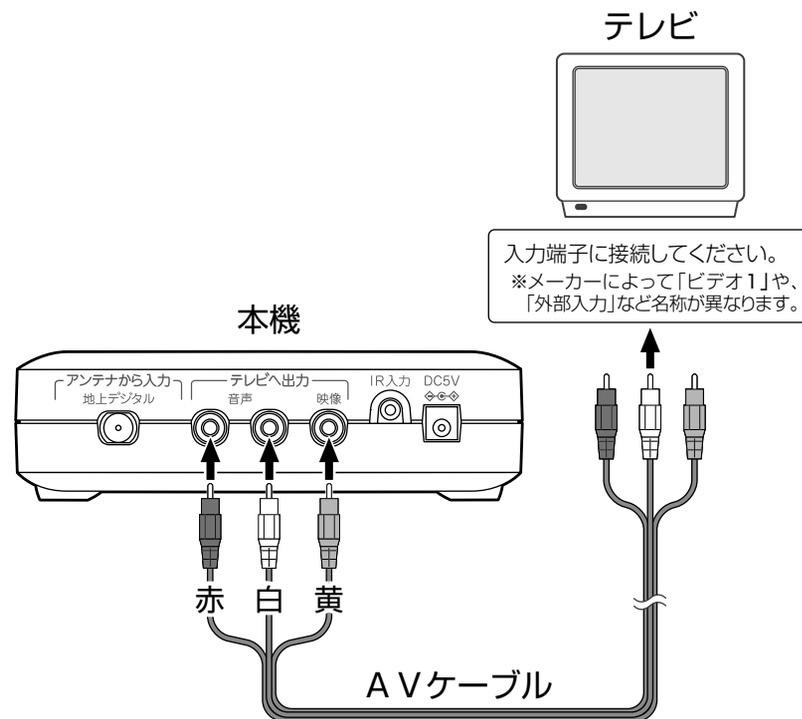
2. アンテナケーブルを接続する

下図のように接続してください。

アンテナ端子
(壁側)

本機

テレビと接続する

ＡＶケーブル（付属品）をテレビの外部入力端子に接続する

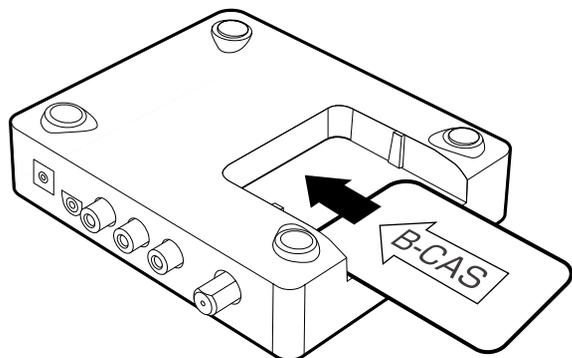
下図のように接続してください。
※ 端子の色が一致するように接続してください。

B-CAS カードを挿入する

B-CASカードは、デジタル放送で放映される番組の、著作権保護や視聴管理などに必要なカードです。

1. B-CAS カードを使用許諾契約書から取りはずす

※ 使用許諾契約書をよくお読みください。

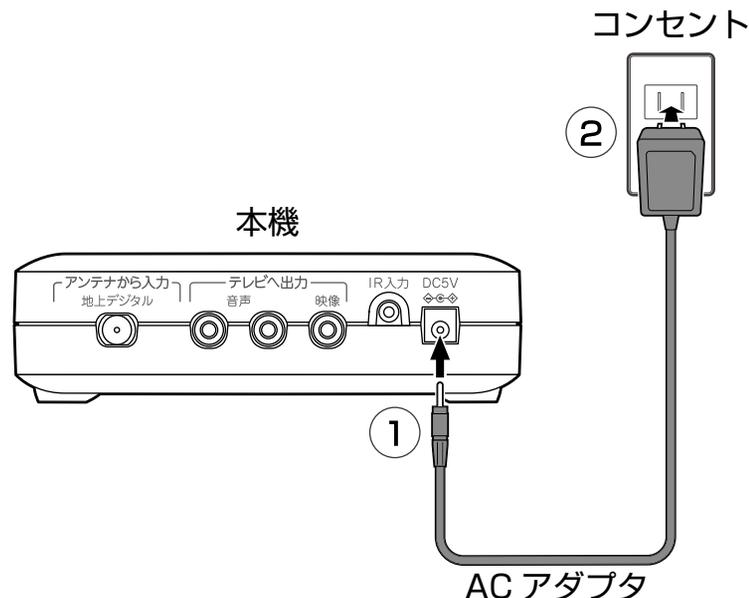
2. 本体に挿入する

カードの向きに注意して奥まで差し込みます。

B-CAS カードの抜き差し

B-CAS カードの抜き差しをするときは、A Cアダプタをコンセントから抜いてから行ってください。
その他、B-CAS カードの取り扱いに関するご注意については、P.5 を参照してください。

A Cアダプタをつなぐ

A Cアダプタ (付属品) を接続する

下図のように接続してください。
※ 接続は、①本機側 ②コンセント の順で行ってください。

本体の設置場所について

本体は風通しのよい場所に設置してください。放熱のため、本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。

初期設定をする

はじめて電源を入れる

リモコン設定を完了しているとき

付属のリモコンを使って、本機の電源を入れます。

※ この操作は付属のリモコンの設定 (≫ P.10) が完了してから行ってください。

1. [テレビ電源] を押す

テレビの電源が入ります。

2. [電源] を押す

本機の電源が入ります。

▶ 電源ランプが緑色に点灯します。

3. [入力切換] を押す

本機が接続されている入力に切り換えると「はじめて設定」の画面が表示されます。

※ お使いのテレビによって「ビデオ1」や「外部入力 1」など画面に表示される名称が異なります。

リモコン設定を完了していないとき

リモコンの設定 (≫ P.10) ができないメーカーのテレビをお使いの場合は、付属のリモコンと、テレビのリモコンの両方を使って操作します。

1. テレビの電源を入れる

2. [電源] を押す

本機の電源が入ります。

▶ 電源ランプが緑色に点灯します。

3. テレビの入力を切り換える

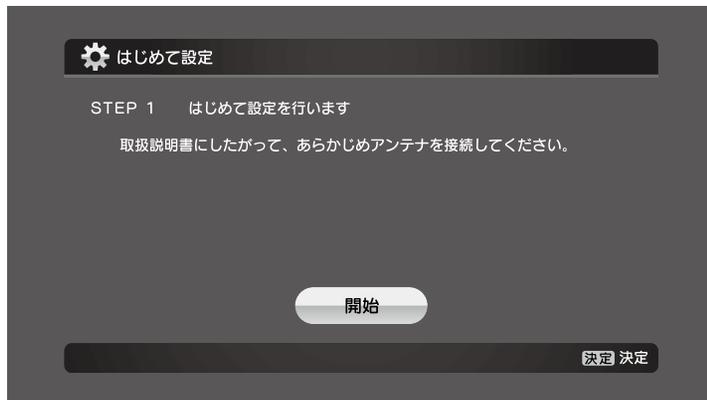
本機が接続されている入力に切り換えると「はじめて設定」の画面が表示されます。

※ 入力切換ボタンは、お使いのテレビによって「ビデオ 1」や「外部入力 1」など名称が異なります。

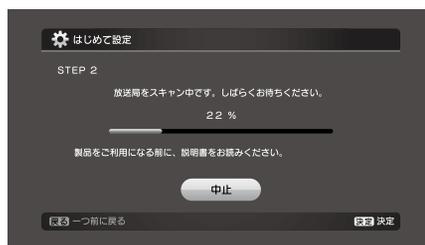
本機の電源について

本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときはテレビと本機の両方の電源を切ってください。

はじめて設定

はじめて電源を入れると、「はじめて設定」の画面が表示されます。

[決定] を押す

放送波のスキャンが画面が表示されます。

※スキャンには時間がかかる場合があります。完了するまでしばらくお待ちください。

▶ 完了すると、デジタル放送の受信が始まります。
※ 操作については P.16 以降を参照してください。

視聴できない場合

以下を確認してください。それでも視聴できない場合は、本機のお買い上げ店または、電器店にお問い合わせください。

□ デジタル放送がお住まいの地域で開始されている。
□ デジタル放送を受信できるアンテナが設置されている。
□ デジタル放送を受信できるアンテナおよび本機との配線が正しく接続されている。
□ B-CAS カードが正しく挿入されている。

特定のチャンネルを見ることができない場合

アナログ放送で見ていた放送局を見ることができないときは、アンテナの設置方向の変更や、改修工事をする必要があります。詳しくは本機のお買い上げ店または、電器店などにご相談ください。

基本的な操作方法

電源を入れる / 切る

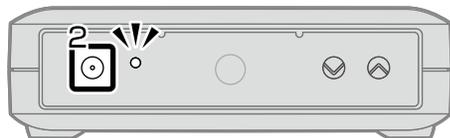
電源を入れる

1. [テレビ電源] を押す

※ 付属のリモコンの設定 (≫ P.10) ができないテレビをお使いの場合は、テレビのリモコンをご使用ください。

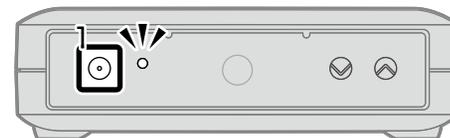
2. [電源] を押す

本機の電源が入ります。
▶ 電源ランプが緑色に点灯します。

※ 本体の電源ボタンで電源を入れることもできます。

電源を切る

1. [電源] を押す

本機の電源が切れます。
▶ 電源ランプが赤色に点灯します。

※ 本体の電源ボタンで電源を切ることもできます。

2. [テレビ電源] を押す

※ 付属のリモコンの設定(≫ P.10)ができないテレビをお使いの場合は、テレビのリモコンをご使用ください。

※ テレビの電源と本機の電源は連動していません。テレビを視聴しないときはテレビと本機の両方の電源を切ってください。

! 電源ランプが赤色に点滅する

電源を待機状態にすると､電源ランプが赤色に点滅する場合があります。赤色に点滅している間は、本機が内部処理をしているため、ＡＣアダプタを抜かないでください。

チャンネルを切り換える

ダイレクト選局

[①] ～ [⑫] を押す

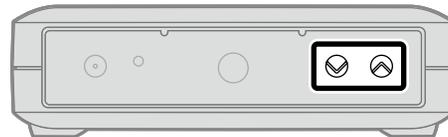
押した番号のチャンネルに切り換わります。

※ リモコンの①～⑫にお好みの放送局を割り当てるには P.25 を参照してください。

アップダウン選局

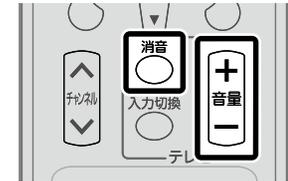
[チャンネル] を押す

昇順 / 降順で 1 局ずつ切り換わります。

※ 本体のチャンネルボタンでも切り換わります。

音量を調節する

[音量] を押す

[＋] で音量を上げ、
[－] で音量を下げます。

[消音] を押すと音が消えます。
▶ 解除するにはもう一度 [消音] を押してください。

※ 以下の場合は使用できません。テレビのリモコンをご使用ください。
- お使いのテレビに消音機能がない。
- リモコンの設定 (≫ P.10) ができないテレビを使っている。

番組情報を表示する

現在、視聴している番組の情報を見ることができます。

[画面表示] を押す

番組情報が表示されます。

※ 表示を消すには、もう一度 [画面表示] を押してください。

基本操作

番組表・裏番組表

番組表を見る

現在から 7 日先までの番組表を見ることができます。
番組表は 1 日に 2 回 (4 時 37 分と 16 時 37 分) 自動更新されます。

表示する

[番組表] を押す

番組表が表示されます。

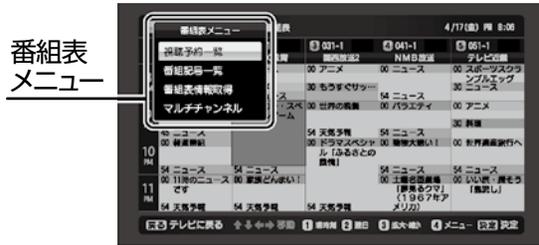
※ 番組内容が表示されないときは、
番組表情報を取得してください。
≫ P.19

操作する

番組表では、リモコンで下表の操作ができます。

	リモコンボタン
別の放送局の番組を選択する	[◀][▶]
別の時間帯の番組を選択する	[▲][▼]
視聴予約を登録する	これから放送される番組を選んで [決定]
登録した視聴予約を削除する	登録した番組を選んで [決定]
現在放送中の番組に切り換える	放送中の番組を選んで [決定]
視聴に戻る	[戻る] または [番組表]
前日の番組表を表示する	翌日以降の番組表を表示しているときに [①] ※当日の番組表を表示しているときは現在時刻に戻ります。
翌日の番組表を表示する	[②]
表示を拡大 / 縮小する	[③]
番組表メニューを見る ※メニューの内容については次のページを参照してください。	[④]

番組表メニュー

番組表メニューでは、以下の操作ができます。

メニュー項目	内容
視聴予約一覧	視聴予約 (≫ P.20) を登録した番組の一覧を表示します。
番組記号一覧	番組表で使われている記号の説明を表示します。
番組表情報取得	最新の番組表を取得します。 ※番組表取得中に視聴予約が実行されると、番組表を取得できません。
代表チャンネル / マルチチャンネル	デジタル放送では 1 チャンネル分の周波数で最大 3 番組までを同時に放送することができます。 1 チャンネル分の番組欄の表示を、3 番組 (マルチチャンネル) または、代表の 1 番組(代表チャンネル)に切り換えます。

裏番組表を使う

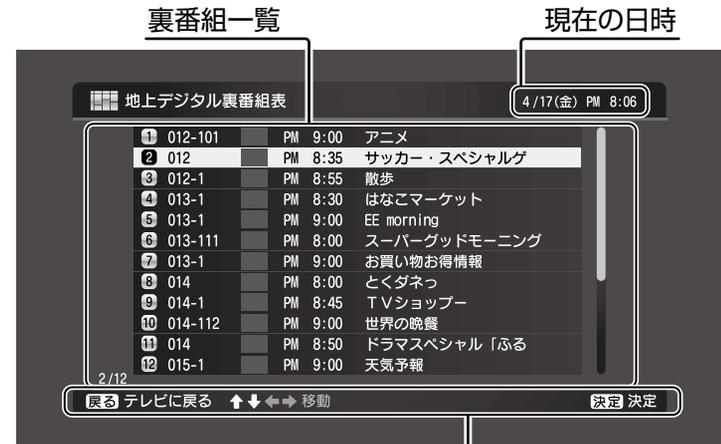
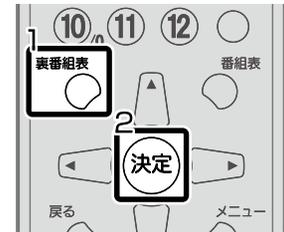
現在放送中の番組の一覧が表示されます。

1. [裏番組表] を押す

裏番組表が表示されます。

※番組内容が表示されないときは、番組表を取得してください。

2. 番組を選んで [決定] を押す

選択したチャンネルに切り換わります。

視聴予約 (お持ちの機器で予約録画する)

予約する

ビデオデッキなどの、お持ちの録画機器を接続している場合はデジタル放送を予約録画することができます。

※ 機器の接続および録画予約の方法については、録画機器メーカーにお問い合わせください。

1. お持ちの機器の録画予約を設定する

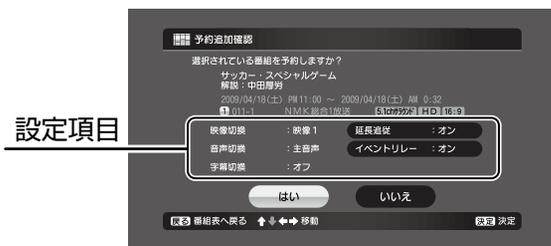
2. 番組表で予約したい番組を選んで [決定] を押す

「予約追加確認」の画面が表示されます。

※ 現在放送中の番組は予約できません。

3. 視聴予約の設定をする

※ 番組によって設定できる項目が異なります。

設定項目

映像切換	複数の映像が含まれる番組の場合、表示する映像を選びます。
音声切換	複数の音声が含まれる番組の場合、出力する音声を選びます。
字幕切換	複数の字幕が含まれる番組の場合、字幕の表示 / 非表示を選びます。
延長追従	番組が延長されたときに、引き続き視聴を続けます。
イベントリレー	番組が延長される場合などに、同じ放送局の予備のチャンネルに切り換えて放送を続けます。

4. [はい] を選んで [決定] を押す

視聴予約マーク

番組表に戻ります。予約した番組には、番組表で「視聴予約マーク」が表示されます。設定している視聴予約は「予約一覧」で確認できます。

視聴予約の実行について

視聴予約は本機が起動中 (電源ランプが緑色) または、待機中 (電源ランプが赤色) のときに実行されます。

起動中に開始される場合

番組の開始直前にメッセージが表示され、チャンネルが切り換わります。メッセージ表示中に [戻る] を押すと、予約をキャンセルします。

待機中に開始される場合

番組の開始直前に自動的に起動して、予約した番組に切り換わります。番組が終了すると、自動的に待機状態に戻ります。

※視聴予約が設定されている状態で、本機が待機中の場合は、電源ランプがオレンジに点灯しています。

視聴予約の実行中は

視聴予約が実行されると、以下の操作ができません。

- リモコンでの本機の操作
- 本機側のボタンでのチャンネル切り換え

途中でチャンネルを切り換えたいときは、本体の電源ボタンを押すことで、視聴予約を解除できます。

! 視聴予約についてのご注意

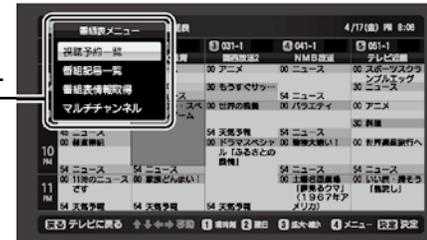
以下の制限があります。

- 登録できる予約は最大 20 件です。
- 登録済みの予約と時間帯が重複する予約を設定すると、重複分の予約が取り消され、新たに選択した番組が登録されます。
- 番組の放送開始時間が変更された場合は実行されません。
- 予約した番組が連続する場合、予約確認のメッセージは表示されません。
- 前の番組で延長追従やイベントリレーが開始され、次の予約に時間が重なった場合、その予約は実行されません。
- 予約が開始されると、メニュー画面や番組表の表示は取り消されます。
- 視聴予約の実行中は緊急放送には切り換わりません。
- お持ちの機器で録画した番組には映像、音声、字幕の切り換えなどのデジタル放送の機能は含まれません。また、画質と音質はアナログ放送と同等になります。

予約を削除する

1. [番組表] を押して [④] を押す

番組表メニューが表示されます。

2. [視聴予約一覧] を選んで [決定] を押す

3. 削除したい予約を選んで [決定] を押す

4. [はい] を選んで [決定] を押す

予約が削除されます。

※ メニュー画面 (≫ P.22) の [予約一覧] または、番組表から予約した番組を選んで削除することもできます。

メニュー画面

メニュー画面を見る

メニュー画面は、設定の変更や情報の確認をするための画面です。

表示する

[メニュー] を押す

メニュー画面が表示されます。

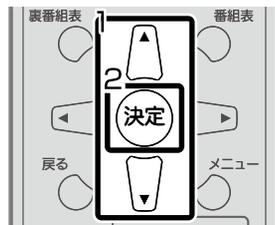
※ メニュー画面を消すにはもう一度 [メニュー] を押してください。

操作する

メニュー項目を選んで実行する

1. [↑][↓] を押す

2. 項目を選んで [決定] を押す

▶ 選んだ項目を実行します。

前の画面に戻る

[戻る] を押す

※ 右の画面で [戻る] を押すと視聴に戻ります。

メニュー画面の項目

一画面では、右表の項目を操作できます。

項目			説明
予約一覧			登録している視聴予約を表示します。 ≫ P.20
受信設定	アンテナ設定		チャンネルごとの受信の状態を表示します。 ≫ P.26
	リモコンボタン割り当て		リモコンに任意のチャンネルを割り当てます。 ≫ P.25
	自動チャンネルスキャン		チャンネルを再スキャンします。 ≫ P.25
	簡易テスト		B-CAS カードの挿入が、正常かどうかをテストします。 ≫ P.27
お知らせ	本機からのお知らせ		本機に関してのお知らせを表示します。 ≫ P.26
	放送局からのお知らせ		放送局からのお知らせを表示します。 ≫ P.26
機器設定	機器情報表示		本機のソフトウェア情報と、B-CAS カードの情報を表示します。 ≫ P.27
	視聴設定	字幕切換	字幕表示の設定を切り換えます。(リモコンでも操作できます) ≫ P.24
		映像切換	複数の映像が含まれる番組で映像を切り換えます。 ≫ P.24
		文字スーパー	文字スーパーの設定を切り換えます。文字スーパーとは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報のことを言います。
		緊急放送自動切換	視聴中に緊急の放送を受信した場合、自動的に切り換えるかどうかを設定します。緊急警報放送とは、地震など大規模災害が発生したときや、津波警報が発令されたときなどに放送される災害報道のことを言います。
		無操作電源オフ	3 時間本機の操作がなかった場合、自動的に待機状態に切り換えるかどうかを設定します。
	画面モード		画面の表示方法を切り換えます。(リモコンでも操作できます) ≫ P.24
	設定初期化		本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。 ≫ P.25

設定する

字幕を表示する

番組に字幕が含まれている場合､表示 / 非表示を切り換えることができます。

[字幕切換] を押す

押すたびに字幕が切り換わります。
※ 表示される字幕は、番組によって異なります。

音声を切り換える

番組に複数の音声が含まれている場合、別の音声に切り換えることができます。

[音声切換] を押す

押すたびに音声が切り換わります。
※ 出力される音声は、番組によって異なります。

映像を切り換える

番組に複数の映像がある場合、映像を切り換えることができます。

1. メニュー画面で以下を選ぶ
   [機器設定] → [視聴設定] → [映像切換]

2. 表示する映像を選んで [決定] を押す

画面モードを切り換える

画面の表示方法を切り換えることができます。

[画面モード] を押す

押すたびに画面モードが切り換わります。

【ワイド】→【レターボックス】→【パンスキャン】

画面比率が 4：3 のテレビをお使いの場合

デジタル放送では、画面比率が 16：9 の映像が主に配信されています。お使いのテレビの画面比率が 4：3 のときは、16：9 の映像を表示する方法を選びます。

※ テレビによって表示が異なる場合があります。

配信映像	表示方法
16：9 の映像 	**ワイド** 映像の左右を圧縮して表示します。 ※画面の補正機能が搭載されているテレビでは、画面表示が自動的に調節される場合があります。
	レターボックス 画面の上下に黒い帯がつきます。 ※画面の補正機能が搭載されているテレビでは、画面表示が自動的に調節される場合があります。
	パンスキャン 映像の両横をカットして表示します。

リモコンボタンを割り当てる

リモコンの①～⑫にお好みの放送局を割り当てることができます。

※ あらかじめチャンネルスキャンをしておく必要があります。

1. メニュー画面で以下を選ぶ
   [受信設定] → [リモコンボタン割り当て]

2. 変更するリモコンボタンの番号 (左端の番号) を選んで [決定] を押す

3. 割り当てたい放送局を選んで
   [決定] を押す

4. [完了] を選んで
   [決定] を押す
   ※ [完了] を選んで [決定] を押すまで、変更は反映されません。

チャンネルを再スキャンする

引越などで、受信する地域や環境が変わったときは、チャンネルを再スキャンしてください。

1. メニュー画面で以下を選ぶ
   [受信設定] → [自動チャンネルスキャン]

2. [はい] を選んで
   [決定] を押す
   現在の環境で受信できる放送局をスキャンします。

   ※ 再スキャンすると以下の情報は消去されます。
   - 登録済みの視聴予約
   - 取得済みの番組表情報
   - リモコンボタンの割り当て (変更した場合)

設定を初期化する

本機を工場出荷時の状態に戻します。

1. メニュー画面で以下を選ぶ
   [機器設定] → [設定初期化]

2. [はい] を選んで
   [決定] を押す
   ▶ 初期化が完了すると「はじめて設定」(≫ P.15) の画面が表示されます。

確認する

お知らせを確認する

デジタル放送の放送波を利用して配信される、お知らせを確認することができます。お知らせを受信すると、番組情報 (≫ P.17) にお知らせアイコンが表示されます。

※ 20 件を超えると古いものから自動的に削除されます。

1. メニュー画面の [お知らせ] を選ぶ

2. お知らせの種類を選ぶ

【本機からのお知らせ】
本機のソフトウェアの更新情報などがあります。

【放送局からのお知らせ】
チャンネル番号や周波数の変更、新しい放送局の開設などの情報があります。

3. 確認するお知らせを選んで
[決定] を押す

お知らせの内容が表示されます。

受信レベルを確認する

電波の受信レベルを確認することができます。特定のチャンネルで映りが悪いと感じたときに確認してください。

※ 受信レベルは天候やアンテナの向きなどによって変化します。

1. 受信レベルを確認したいチャンネルを表示する

2. メニュー画面で以下を選ぶ
[受信設定] → [アンテナ設定]

3. 受信レベルを確認する

視聴中のチャンネルの受信レベルが表示されます。

※ 受信レベルが 60%以上あれば正常に受信できています。

ビープ音について

アンテナの向きを調節するときなど、テレビから離れた場所で受信レベルを確認したい時に使用します。
ビープ音は、受信レベルが 60%以上のときは高音が、60%未満のときは低音が鳴ります。

機器情報を確認する

本機のソフトウェアのバージョン情報と、B-CAS カードの情報を確認できます。

メニュー画面で以下を選ぶ
[機器設定] → [機器情報表示]

表示される項目の内容は以下の通りです。

ソフトウェアバージョン情報		本機を制御するソフトウェアのバージョンです。
B-CAS カード情報	カード種別	B-CAS カードの属性を表しています。
	カード ID	B-CAS カードの裏面に記載されている、固有の番号です。
	グループ種別	B-CASカードが属するグループ種別の情報です。
	グループ ID	複数の B-CASカードで同一の契約をする場合の共通番号です。

B-CAS カードの状態を確認する

B-CAS カードが正常に動作しているかを確認できます。

メニュー画面で以下を選ぶ
[受信設定] → [簡易テスト]

テスト結果が表示されます。

テスト結果がＮＧだった場合

以下を確認してください。

- □ 本機に付属の B-CAS カードを使用している。
- □ B-CAS カードは正しい方向に挿入されている。
- □ B-CAS カードに汚れや破損がない。

Q＆A

Q. 電源が入らない

A ●ＡＣアダプタが正しく接続されているか確認してください。

Q. 電源が入っているのに操作できない

A ●視聴予約が実行中の場合は操作できなくなります。本体の電源ボタンを押して視聴予約を解除してください。
●本機の処理中に何らかの原因でエラーが発生すると、そのままの状態で操作できなくなったり、映像が表示されなくなったりする場合があります。その場合は、本機の電源を切ってから、再度電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、一度、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

Q. 電源を入れてもすぐに映像が表示されない

A ●本機が映像を受信して表示するまでに時間がかかる場合があります。

Q. 映像が表示されない

A ●本機または、テレビの電源が入っているか確認してください。
●テレビの入力設定を本機に接続した入力に切り換えているか確認してください。
●本書に記載している接続方法が、すべて正しく行われているか確認してください。
●付属の B-CAS カードが正しい方向で挿入されているか確認してください。

Q. 映像が乱れる・止まる

A ●アンテナの取り付けなどを確認してください。また、悪天候のときは、映像が乱れることがあります。
●本機とアンテナケーブルおよびテレビが正しく接続されているか確認してください。アンテナケーブルのプラグの中にある芯線が折れていないかも確認してください。
●視聴中や待機中など、本機が通電状態のときに B-CAS カードを抜き差しすると、放送波が受信できなくなります。この場合は、一度、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

Q. 特定のチャンネルを見ることができない

A ●アナログ放送で見ていた放送局を見ることができないときは、アンテナの設置方向の変更や、改修工事をする必要があります。本機のお買い上げ店または、電器店にご相談ください。
●UHF とその他の放送 (BS 放送など) が混合された放送波を受信している場合、特定のチャンネルを受信できないことがあります。この場合は分波器を使用して接続してください。

Q. 音声が出ない

A ●テレビの音声が極端に小さい、または、消音になっていないか確認してください。
●本機とテレビとの音声端子が正しく接続されているか確認してください。

Q. 視聴している最中に勝手に待機状態になる

A ●無操作電源オフの設定が [オン] になっている場合は、[オフ] にしてください。
●待機中に視聴予約が開始された場合、視聴予約が終了すると自動的に待機状態に切り換わります。

Q. リモコンの操作ができない

A ●視聴予約が実行中の場合は操作できなくなります。本体の電源ボタンを押して視聴予約を解除してください。
●お使いのテレビメーカーに応じたリモコン信号に設定してください。(≫ P.10)
●リモコンの操作範囲内 (≫ P.11) で操作してください。本体の前面または IR 入力端子に取り付けたリモコン受光ユニット（別売）に向けてリモコンを操作してください。
※リモコン受光ユニットを接続しているときは、本体側の受光部は反応しません。
●電池の極性（＋、－）が正しいか確認してください。
●リモコンの電池を交換してください。

Q. メニュー画面が消えない

A ●リモコンの [メニュー] をもう一度押すと、メニュー画面が消えます。

Q. チャンネル番号が画面から消えない

A ●リモコンの [画面表示] を押すと、表示が消えます。

Q. 字幕が表示されない

A ●リモコンの [字幕切換] を押してください。
※番組に字幕が含まれていない場合、表示されません。

Q. 文字スーパーが表示されない

A ●文字スーパーは地震や災害などの速報に用いられることが多いため、常に表示されるものではありません。

Q. 番組表が更新されない

A ●番組表を手動で取得してください。(≫ P.19)

Q. 電源ランプが点滅している

A ●本機が内部処理をしています。赤色に点滅している間は、ＡＣアダプタを抜かないでください。

Q. 本体が熱くなる

A ●本体内部の放熱のため、本体が熱くなることがありますが故障ではありません。

保証とアフターサービス

保証書について

このページの裏面が保証書になっています。
お買い上げ日や販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。また、本製品に関するお問い合わせ先を記載しています。

「故障かな？」と思ったら

診断・修理をご依頼される場合は、製造番号と本製品の症状をご確認のうえ、ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

●保証期間経過後、保証外修理の場合

修理することで使用できる場合は、ご希望により有償で修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後５年です。補修用性能部品の最低保有期間を過ぎた場合でも、故障箇所によっては修理が可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または、ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

保証書

本製品は当社品質検査に合格したものです。万一、保証期間内での正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、本書記載の保証規定に基づき無償修理を行います。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名 製品番号	
製造番号	本体記載の製造番号をご記入ください。
お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
販売店名 住所・電話番号	販売店様へ お買い上げ年月日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、 お客様に本書をお渡しください。

1. 保証期間内において、取扱説明書等にしたがった正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、保証規定に基づき無償修理をいたします。故障発生の場合には、まず、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
2. 保証期間内にあっても、お客様の取扱いの不備、操作間違い等が原因による故障は、原則として有償修理とさせていただきます。
3. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
4. お買い上げ年月日、販売店名の記入捺印がない場合は、別途、購入日を証明する書類（レシート、納品書等）の添付が必要となります。ご確認のうえ、記入捺印のない場合は、販売店にお問い合わせください。
5. 本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。
6. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

保証規定

1. 保証期間内にあっても次の場合は有償修理となります。また、本書並びに製品付属の取扱説明書等に別途記載されている場合には、その保証規定にしたがい有償修理となりますのでご注意ください。
   - a) お買い上げ年月日が確認できない場合、また、販売店名、販売店記入のない場合（※オンライン購入の場合は、お買い上げ日を証明する書類（納品書等）が必要になります。）
   - b) 本保証書の提示がない場合、また保証書を書き換えた、所定事項に記入がない場合
   - c) 操作上の誤り、他の機器との誤った接続、弊社によらない修理や改造による故障および損傷
   - d) お買い上げ後の輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷
   - e) 火災、風水害、地震などの天災、異常電圧による故障および損傷
   - f) 使用中、ケース等に生じる傷などの外観上の変化
   - g) 消耗品（電池等）および付属品を取り換えた場合
2. 保証期間内でも製品を弊社へ送付された場合の送料および諸掛りにつきましては、お客様の負担となります。なお、送付の際は適切な梱包のうえ、紛失防止のために受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
3. 本製品の故障および故障状態での使用により生じた直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。
4. 修理受付後、弊社において障害が再現できない場合は、交換、修理をいたしかねる場合があります。
5. 修理によって交換された不良品の所有権は、当社に帰属するものとし、交換した部材に関するデータ等の内容については一切の責を負わないものとします。
6. 保証期間経過後の修理につきましては、やむを得ない事情により、お客様へ事前通知なしに使用部品などを変更する場合があります。

〒556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70
パークスタワー 25F

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター
ナビダイヤル®
0570-02-3500 ※携帯電話もご利用できます。
受付時間 :10 時から 18 時 (年末年始、祝日除く)
※PHS からおかけの場合や、ナビダイヤルをご利用できない場合
TEL：06-6633-2990　FAX：06-6633-2992

きりとり線